

同時資料配布先：

経済産業省記者会

大阪科学・大学記者クラブ

2016年2月9日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

## シンポジウム開催のご案内

### シンポジウム「COP パリ協定と今後の IPCC 報告書」

- 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は昨年10月に新議長団が決定し、第6次評価報告書（AR6）の作成に向けての新たなサイクルに入っています。また、12月の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）におけるパリ協定には、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」、「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成するために、最新の科学に従って早期の削減を行う」ことが記載されました。加えて、COP21決定では、IPCCに対して、2018年に産業革命前の水準から1.5℃の気温上昇の影響と関連する温室効果ガス排出経路についての特別報告書を提供することが招請されました。
- こうした動きを踏まえ、今後のIPCC報告書の役割等について考えるシンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、COPパリ協定とIPCCの課題、2.0℃ならびに1.5℃目標達成に極めて重要な役割を果たすネガティブエミッション技術、及び1.5℃目標達成に向けた経路の課題等について3件の講演を行い、その後、排出削減目標達成に向けての取り組みや今後のIPCC報告書への期待について討論するパネルディスカッションを予定しております。

#### 1. 日程等

日時：平成28年3月7日（月）13:00～17:10（受付開始：12:30から）

場所：第一ホテル東京 5階ラ・ローズ（〒105-8621 東京都港区新橋1-2-6）

主催：公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共催：経済産業省

参加費：無料

定員：200名

#### 2. プログラム

主催者挨拶： 本庄 孝志（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事）

来賓挨拶： 経済産業省 産業技術環境局

基調講演： 『IPCCの今後の役割』

茅 陽一（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長）

講演： 『ネガティブエミッションの必要性和限界』

加藤 悦史（一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 主任研究員）

講演： 『1.5℃目標達成に向けた経路の分析と評価』  
秋元 圭吾（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構  
システム研究グループリーダー）

パネルディスカッション：  
『長期目標に向けての技術の挑戦および IPCC 報告書に期待すること』

モデレータ 山口 光恒（公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 参与）

パネリスト 杉山 大志（一般財団法人 電力中央研究所 上席研究員）

手塚 宏之（JFE スチール(株) 技術企画部 理事）

馬場 未希（日経エコロジー 副編集長）

他 1 名予定

### 3. 参加申込み

RITE ホームページ (<http://www.rite.or.jp/news/events/2016/02/ipcc2015.html>) より、お申込み下さい。参加申込み多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

### 4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。  
やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

#### お問い合わせ先

広報： 広報・産業連携チーム 中村、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314 E-mail : pub\_rite@rite.or.jp

シンポジウムの内容： 企画調査グループ 高木、仲山、葛原

TEL : 0774-75-2302 FAX : 0774-75-2314 E-mail : symposium@rite.or.jp